

Isotape

端末処理不要の完成品

屋外用
高温プロセス用
インテープ
ITS/SS

概要

屋外用インテープITS/SS型は主として高温度領域における屋内外用途の環境に適した耐候型のテープ状電気ヒーターとして頑丈さ(外的強度)耐蝕性、電気絶縁性など優れた特長を持つ高温高負荷タイプの製品です。ITS/SS型インテープはプロセスヒーティングなど高温高負荷を必要とするパイプラインやタンク及び各種装置の保温、加熱用としてその表面に直線状又は、らせん状にトレースして使用します。高負荷密度の利点からパイロットプラントなどの極端な熱損失を補ったり、急激なヒートアップを必要とする用途に強力な威力を発揮します。エレメントは金属スリーブ(SUS321)中にMgO絶縁され入力側のパーレルの中で非発熱線に接続、外部からは完全に密封され気密性に富む構造に仕上げてあります。インテープの外装材は強力なステンレス網仕上げのテープ状で、スリーブはテープ幅の両端をUターンし、入力側(一方向)のターミネーション部には耐圧グランド(真鍮製)が2個付属し両端末は処理不要で入力へ接続できる様に全長にわたり絶縁処理が施されています。又、付属の耐圧グランドは接続する金属製ジャンクションボックスなどを通してアースされる設計になっています。防水型温度調節器を併用してご使用頂きますと屋外における耐候機能を持つ防水、防じんの現場型、保温・加熱システムとしてご利用頂けます。



●型式一覧表

	ITS/SS-50		ITS/SS-100		ITS/SS-200		ITS/SS-300	
	規格長 (La)m	総負荷 (W)	規格長 (La)m	総負荷 (W)	規格長 (La)m	総負荷 (W)	規格長 (La)m	総負荷 (W)
240V	7.59	379	5.37	537	4.78	956	4.90	1470
	9.56	478	6.76	676	6.00	1200	6.20	1859
	12.00	600	8.49	849	7.59	1518	7.75	2324
110V	4.38	219	3.10	310	3.48	696	3.55	1065
	5.50	275	4.92	492	5.50	1100	5.66	1697
	6.96	348	6.15	615	6.93	1386	7.10	2130

※使用電圧は100V用(定格110V)、200V用(定格240V)のいずれかの規格長が用意されています。
 ※記載の総負荷(W)は240V用で200V電源使用の場合31%減、110V用で100V電源使用の場合約17%減となります。
 ※規格長、総負荷は記載数値と異なる場合があります。
 ※一覧表に記載のない長尺の製品は別途お問い合わせ下さい。

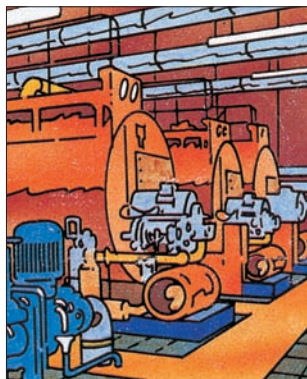
屋外用

インテープ ITS/SS

●仕様

標準使用場所	屋外・屋内	
使用可能温度域		
パイプ最低温度	- 40℃	各タイプ共通
パイプ最高温度	+500℃	ITS/SS- 50
	+500℃	ITS/SS-100
	+400℃	ITS/SS-200
	+300℃	ITS/SS-300
材質耐熱温度	+600℃	
標準規格		
規格長・La	3.10m~7.10m	110V用
	4.78m~12.0m	240V用
テープ幅×厚さ	約25mm×4mm	
1mあたりの負荷電力・W/m	50・100・200・300の4タイプ	
負荷公差	±10% (総負荷あたり)	
電源電圧	240V・110Vの2タイプ AC単相用	
最小曲げ半径	50mm以上 硬さあり。	
ヒーティングセクション (発熱部) La		
発熱エレメント	ニッケルクロム	
電気絶縁	スリーブ中に酸化マグネシウム充填絶縁	
スリーブ材質	ステンレス	
外装	ステンレス網仕上げ	
ターミネーション (非発熱部) Lb~Lc		
入力予備用リード・Lb	スリーブ	500mm長
入力用テールリード・Lc	ニッケル線	150mm長 (PVCスリーブ)
耐圧グラウンド	真鍮製ネジ	M20
別売関連機器		
	防水型温度調節器	32頁参照
	同上用関連機器	33頁参照
	温度管理システム	33頁参照
	取付け固定用材料	33頁参照
	電源接続用材料	33頁参照

注) ● 接地工事 (D種接地工事) を必ず行って下さい。
 ● 電気を供給する回路には専用の開閉器及び過電流遮断器を各極に設置して下さい。尚、回路に地絡が生じた時には自動的に電路を遮断する漏電遮断器 (30mA) を各ヒーター回路に設置して下さい。
 * 仕様欄のパイプ最高温度、材質耐熱温度はバーレル (La・Lb継目) の部分を除いたそれぞれの温度を表します。



主な用途 (応用例)

- パイロットプラント保温、加熱
- プロセス保温
- 鉛、歴青の温度維持
- 極端な熱ロス補償
- 急激なヒートアップ

構造説明

